

(事業所自己評価実施日) : 令和4年12月実施 (公表) : 令和5年3月31日

事業所名 : 児童発達支援センタースイスイなかま 6人中6人回収 回収率 : 100%

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・一日の利用人数によっては密になる活動エリアもあるので、プログラム活動内容も工夫して参ります。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・収支状況を踏まえながら質の高い療育の提供を目指した、事業の持続可能な適切な人員の配置に努めて参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3		・バリアフリーになっていない。 ・現在の利用児には問題ないかもしれないが、段差が多い。 ・構造化は出来ているが、バリアフリーにはなっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2		・寒さと暑さが厳しい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・カンファレンス等で個別支援計画を共有した中で、療育支援内容の検討を図ります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・保護者向け評価表は令和4年11月21日に配布し～令和4年12月中旬頃までの提出依頼をおこない集計を実施しました。いただきましたご意見を参考にし、可能な限り業務改善につなげて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3		・集計公表は、年度内の3月末に公開予定です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			・「第三者評価」はおこなっておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			新型コロナウイルス感染拡大が続く外部研修への参加取組みは難しいところがありました。 熊本県子ども総合療育センター職員の方からお力添えをいただき随時、定期研修をととして職員一人ひとりの資質向上に努めました。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			保護者、他機関との連携による情報を共有しながら、児童の発達の状況に合わせた個別支援計画を作成して参ります。アセスメントが不十分な部分もあるかもしれませんが、新しい情報をモニタリングなどを通して更新して参ります。毎年度保護者の方へニーズの確認をおこなっています。

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		・自閉症スペクトラム障害の子どもに特化した個別式のアセスメントツール太田ステージによる評価を活用し、アセスメント内容検査を5段階（LDT-R1～5）評価をおこないその発達性に合わせて課題設定をおこないます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		・ガイドライン示された内容を定期的に確認しながら、児童の発達段階に合わせた必要な事項を最優先に個別支援計画に反映できるよう心掛けて参ります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		保護者からのニーズを基に個別支援計画を作成します。全職員で情報の共有をおこない発達の段階、成長に合わせた支援の提供を図って参ります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		全職員でおこないます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		個々に合わせた活動プログラムとその方の興味関心に合わせたプログラム内容となっているかカンファレンスをおして協議検討を行ないます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		個々の発達状況の情報共有を図る。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		毎朝、全職員でその日の支援ポイントの情報の共有を図っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		支援終了後のカンファレンスをおこない、次の支援に取組むべきことを全職員で共有します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		学習課題及び療育記録をおこない、保護者に対するコメントを記入して情報の共有化を図ります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	令和4年5月から児童発達支援管理責任者不在が続いているため、担当者が中心となって相談支援事業所等と連携し支援計画目標の設定をおこなった。
関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		令和4年5月から児童発達支援管理責任者が不在により、その児童担当者と管理者が会議へ参加し、情報の共有を図った。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		市町村保健師の方へ情報提供書の依頼をおこない、これまでの状況や検査結果などの情報収集をおこなっています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			福祉型児童発達支援の為対象児童はいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			福祉型児童発達支援の為対象児童はいらっしゃいません。

保 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		日頃から保護者、保育園等との情報共有を図り共通した取り組みを心掛けています。必要に応じて電話等で情報共有をおこなっています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		小学校の通常学級に進まれる場合には、必ず情報提供をおこなっています。他保護者の方の要望に合わせて情報の提供をおこなっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		業務上可能な限り参加を行うようにしております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	通所されている児童はすべて保育園、幼稚園に所属されていますので、改めて交流の場は設けておりません。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	参加しておりません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		親子通園のため状況を確認しあえる環境であり、共通理解と共通の取り組みを実施しております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6		熊本県こども総合療育センターの支援を受けながらペアレントプログラムの実施をおこないました。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時、おこなっています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		おこなっています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		相談がある場合は、営業日時間内であれば相談対応をおこなえることを保護者の方へ伝えています。担当者並びに児童発達支援管理責任者からの具体的なアドバイスをおこない対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	保護者会は、組織されておりません。保護者同士の連携を深めることが出来るような取り組みを検討して参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	保護者からの申し入れに関しては、迅速に対応しています。事業所で抱えきれない問題等については保護者の了解を得て、対応各機関等へ相談をおこない改めて保護者の方へ連絡をおこなうようにしております。

等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			ひと月に1回行事等の連絡をお便りとして発行し、LINEツールなども有効に活用しながらお知らせしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			おこなっております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			個々に合わせたコミュニケーション手段に応じておこなっております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		プライバシーに配慮し、地域に開かれた活動はおこなっておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			事業所内の一角にボックスを設置し周知を図って参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			定期的に年2回の火災避難訓練等を計画し、実施をおこなっております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			契約の際には必ず確認をおこないます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		事業所から食事を提供することはほとんどありません。食べる機会がある時には事前に十分な確認をおこない実施して参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		ヒヤリハットの事例集などをとおして情報の共有を図り、事故の未然防止に努めて参ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			法人全体による職員研修会や事業所ごとによる研修会を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3	1	・対象者なし ・今はこのような子どもはいない